

あなたのまちの送迎バス 空気を運んでいませんか？

——「施設送迎バスを活用した、高齢者等外出支援調査」のご提案——



まちづくりの総合技術コンサルタント
ISO9001 認証取得

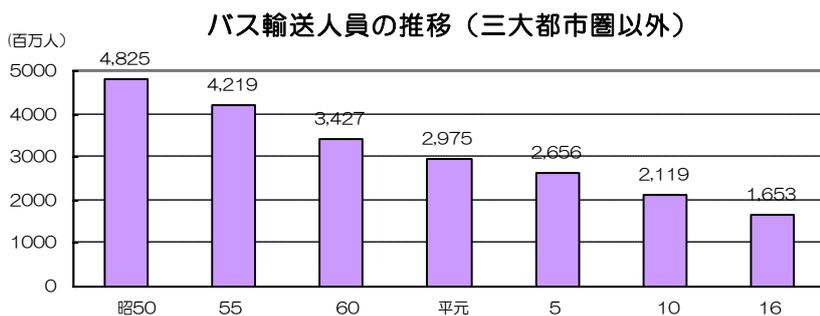
昭和株式会社

調査提案の背景

■近年、自家用自動車の普及により、日常生活における自家用自動車への依存が高まっており、長期的に公共交通の利用者は減少傾向にあります。

■公共交通利用者の減少に伴い、公共交通サービスの低下が進んでいます。(バス路線の廃止による公共交通空白地域の出現等)

■また、交通事業者の大半が赤字経営となっています。(平成17年度乗合バス事業者の約7割が赤字)



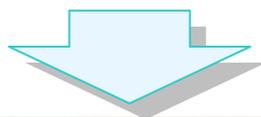
昭和50年度⇒平成16年度
66%減少(三大都市圏以外)
52%減少(全国平均)

■一方で、全国的に少子高齢化が進行し、その傾向は今後より一層加速化していくことが予想されています。そのため、高齢者が安心して元気に暮らせるよう、病院や公民館、商業施設等公益施設への移動手段の確保が重要になってくるといえます。

■各地には、公共交通が行き届かない郊外部の地域以外に、都市部でも道路が狭くてバスなどが通れない地域もあります。

■こうしたことに対応するため、近年、行政が関わりを持ちながら運行を確保する「コミュニティバス」や「乗合タクシー」の導入が進められていますが、行政の費用負担の膨大化により運行見直しに至るケースが多々出てきています。

多くの費用をかけずに、高齢者等の移動手段を確保する方法はないものか…



■まちを見渡すと、施設送迎バスが利用者に乗せずに、空気を運んでいるような光景が数多く見受けられます。

・自動車教習所 ・病院 ・スイミングスクール ・大学 など

■行政と企業・学校等が連携して、地域ぐるみで高齢者等の外出支援を行っていくことが考えられます。(施設送迎バスの空席を活用して、高齢者等の混乗を可能とするもの)

当社が、そのための調査、コーディネートを支援します。

他都市における先進的取り組み事例

《主な事例都市》

◆まだ数は少ないですが、神奈川県横浜市、千葉県船橋市、我孫子市、沖縄県糸満市(当社対応事例)等、いくつかの都市において、近年「施設送迎バスを活用した高齢者等の外出支援」の取り組みが行われてきています。



■沖縄県糸満市における施設送迎バス活用事例

《先進都市における実施概要》

◆自動車学校や病院等施設送迎バスの設定した送迎輸送のコース範囲内で、送迎バスの空席を活用し、高齢者等の外出支援や区民の交通アクセスの改善を図るとともに、既存の輸送手段の活用を進め環境負荷の低減を図ることを目的としています。

◆自動車学校等の業務に支障がない範囲で、あくまで企業に協力していただいているというスタンスで実施されています。(事業者側は、無償で協力。ただし、地域貢献による企業イメージの向上、教習所等のテリトリー確保、高齢者講習受講者の確保等企业にとってのメリットもあるようです。)

◆利用できる方は、どの地域でも満65歳以上で送迎バスに一人で乗降できる方(ドアの開閉を含む)となっています。また、個人での利用に限っています。

◆利用料金は無料です。

◆既存バス路線との競合を避けるようにコース設定が行われています。

◆行政と事業者の間で、それぞれの役割等を示した協定書を締結しています。

◆行政の経費負担は、傷害保険料(乗降時の転倒など)への加入や広報印刷物(チラシ、コース図、手引き、乗車証)の作成、登録者への乗車証発送費等が主なものであり、多大な費用は要していません。

調査内容(コンサルティングの内容)

施設送迎バスを活用した高齢者等の外出支援の実現に向けて、当社にて以下のような調査・検討等を通じたコンサルティングを実施させていただきます。

＜1＞都市の交通現況調査

効果的・効率的な交通体系整備を図る上では、まず地域の実態を的確に捉えることが重要となります。そこで、当社にて必要資料を収集し、下記事項を整理します。

- ◆地域別人口密度、高齢化率、まちづくりプロジェクト、施設分布状況等、基礎データの整理
- ◆既存の公共交通(鉄道、路線バス、タクシー他)に関わる運行状況等の整理
- ◆公共交通不便地域の抽出と不便地域カルテの作成 ◆地域交通に関わる課題整理

＜2＞送迎バス運行事業者へのヒアリング調査

ヒアリングにより、車両保有台数、運行日・時間等の状況、空席の状況、企業としての地域貢献に対する考え、運行にあたっての条件等を把握し、計画検討のための基礎資料とします。

- ◆ヒアリングシート作成及び整理・分析

＜3＞施設送迎バスの活用を含めた交通体系整備の検討

現況調査やヒアリング調査結果をもとに、都市にとって望ましい交通体系のあり方を整理した上で、その実現に向けた計画や仕組みを検討し、提案します。

- ◆都市における望ましい交通体系の方向性検討(交通体系の将来像)
- ◆都市全体の交通体系整備計画の検討 ◆施設送迎バス活用計画の検討
- ◆実現に向けた仕組み等の検討 (◆施設送迎バス活用以外の代替案の検討)

＜4＞地域住民への広報周知

計画をつくっても、利用者となる市民への十分な周知が図られなければ意味がありません。そこで、当社にて図面・イラスト等を用いた分かりやすい広報資料を作成します。

- ◆ホームページへの情報掲載及び区長会等の支援 ◆「施設送迎バス利用手引書」の作成、印刷

＜5＞事業者等との調整支援

実現に向けては、運行していただく事業者との合意形成が不可欠となります。そこで、当社にて他都市事例等を踏まえた助言や資料作成を通じて、事業者との調整をサポートします。

- ◆施設送迎バス運行事業者 ◆既存の交通事業者(バス事業者等)

[お問い合わせ先]

まちづくりの総合技術コンサルタント

昭和株式会社

<http://www.sho-wa.co.jp/>

当社は、全国48箇所に支店・支社・営業所を構えています。担当営業マンまでお気軽にお声掛けください。